

第4回三田市新ごみ処理施設整備基本計画策定委員会（令和3年11月24日開催）において、委員からいただいた意見を踏まえ、「三田市新ごみ処理施設整備基本計画(案)に対する市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について」を下記のとおり修正（赤字下線）します。

**「三田市新ごみ処理施設整備基本計画(案)」に対する市民意見
の募集結果と意見に対する市の考え方について**

(1) 基本計画(案)を修正するもの

No.	委員の意見（要約）	市の考え方と対応
2	安全・安心の確保と市民に親しまれる身近な施設の表現がややこしいと書いてあるのですが、「これだから安全」、「これだから安心」というのをつけたほうが多分一般市民の方はわかりやすいのでは。	<p><u>修正後</u> (P4)</p> <p>ごみ処理施設は、本市から排出される一般廃棄物（ごみ）処理の全てを担う施設であり、<u>施設の不具合や大規模な災害等により、ごみ処理に支障が生じれば、生活環境や公衆衛生に重大な影響を及ぼすとともに、円滑な復旧、復興の妨げにもなります。</u></p> <p><u>新施設は、市民生活に直結したごみ処理施設として長期にわたり安定した稼働に向けて、強靱で安全性が高く、災害時や非常時の活動を支援する拠点としての機能も具備し、市民が安心して生活できるための施設を目指します。</u></p>

(2) 計画(案)を修正しないもの

No.	委員の意見(要約)	市の考え方と対応
第2章 施設整備の理念・基本方針(P3-P4)		
3	<p>発電効率が18%以上と基本計画の中に書かれていれば、ごみ量とごみ質、ごみのカロリーからどれぐらい発電できるかを答えてもいいのではないかと。また、焼却炉単体でのゼロカーボンというのは基本的に無理だと答えるべきではないかと。</p>	<p>発電量は、事業者の提案内容を総合的に判断して最終的に決まるものと考えており、現時点では基本計画や市の考え方においても、記載しないこととしました。</p> <p>修正後</p> <p>本計画は、家庭や事業所などから排出されるごみを適正に処理するために必要となる処理施設の内容について示したものです。</p> <p>「カーボンニュートラル」の取り組みについては、<u>焼却炉のみで達成することは困難であり、別途ゼロカーボンシティに向けた計画を策定することとしています。</u></p>
方針1：循環型社会の構築を推進する施設(P3)		
8	<p>現在の「ごみの出し方ハンドブック」を明記するとよりわかりやすいと思う。</p>	<p>修正後</p> <p>生ごみの水切り等のごみの出し方については、<u>現在の第4次一般廃棄物処理基本計画や「家庭ごみと資源の分別と出し方ハンドブック」に生ごみの水切りでごみの減量になることやごみの分別と出し方を記載しています。</u></p> <p><u>更に、令和4年度に見直しを予定している一般廃棄物処理基本計画においても、具体的な対策も含め検討することとしています。</u>その内容は新施設の環境教育・学習機能にも活かしていきます。</p>
4.2 施設整備規模の設定 (3) 粗大ごみ処理施設の規模(P20-21)		
22	<p>「新施設では発電や排ガス計測値などの運転状況をホームページに掲載することも検討していきます」という記載は、今も公表しているのに後退したイメージになる。</p> <p>例えば、発電量については公表していくことを検討しているなど明確に書かれたほうが良い。</p>	<p>修正後</p> <p>(省略)</p> <p>なお、新施設では、<u>ごみ焼却による発電状況なども</u>ホームページに掲載することを<u>検討</u>していきます。</p>